平成26年度 事業計画(案)に関する件

平成26年度事業計画

2014 年度の事業計画の重点課題は、 第 2 期中期経営計画の実施、 法令(公益法人制度改革関連 3 法)に定める公益目的事業として「社会運動資料センター」事業の開始、「地域ふれあいフェスタ」事業の実施であります。また前年度事業計画のうち未達成の課題についても積極的に取り組みます。

1.会館運営について

(1)会館運営の改善

第2期中期経営検討委員会答申に基づき、家賃の改訂を順次実施していきます。

駐車場の配置を見直し利用者の便宜をはかるとともに、県有地の購入を検討します。

会館業務運営について引き続き検証を進めます。

引き続き適正な修繕積立金を実施します。

貸室・テナントの安定的な利用拡大に努めます。

利用しやすい会館運営に努めます。

(2)会館建物設備の修繕

ポリ塩化ビフェニル廃棄物(PCB)の処理について関係法令に基づき、適正な処分・保管を検討します。また、消火器具、屋内消火栓等の消火設備の点検、老朽化した設備の買い替え等を検討します。

2.わーくびあ事業の推進について

"健康で元気なシニアの活動"の各種支援を行います。

働き続けたいシニアの人々の支援を行います。

勤労者のワンストップサービスの拠点として充実を図り、労働者福祉の各種事業を支援します。

3. 社会運動資料センターについて

公益目的事業として社会運動資料センター事業を開始します。主な事業として、社会運動に関係する 資料収集・研究および企画展・セミナーの開催、定期刊行物の購入とその閲覧を行うこととします。広く一般の方に呼び掛け、収集した資料については室内に展示し、閲覧可能とします。

4.地域ふれあいフェスタについて

業務委託団体であるNPO法人「壮生」の行事に協力するほか、公益目的事業として地域ふれあいフェスタ事業を実施します。『支え合い』『家族の絆』等をテーマとして、それぞれの分野のNPO・ボランティア団体と連携し、木工教室、切り絵、おもちゃ教室、映画会、ブース出店、絵画の募集と表彰などのイベントを行います。広く一般の方の参加を呼び掛けるとともに、参加無料とします。

公益目的事業計画書

実施事業(公益目的事業)

事業番号	公1
事業名称	社会運動資料センター事業
事業目的	社会運動に関係する資料収集・研究および企画展・セミナーの開催、定期
	刊行物の購入とその閲覧を行う。
対 象	一般の方誰でも可。
期間	平成 26 年度より実施。
事業内容	勤労者福祉の向上を目的とする様々な社会運動や労使間の諸問題を学習
	することは、「勤労者の福祉の向上を目的とする事業」に関連すると考えら
	れる。
	一般来館者が無料にて閲覧可能。
	収集した資料については、室内に展示し、閲覧可能とする。
	NPO法人賀川豊彦記念・鳴門友愛会などと連携して、資料の選別などは
	専門家の助言を得て行い、セミナーの講師には専門家を選任する。
	広く一般の方が利用、参加できる体制とする。
	社会運動や労使間の諸問題等を研究・学習することは、本事業目的に適う
	と考える。
財源	自主財源から拠出。
資産	ヒューマンわーくぴあ徳島203号室
人員	専従職員および臨時職員が従事する。
案内	館内に掲示、関係する労働者福祉団体の広報誌に広告掲載、ホームペー
	ジに掲載等の方法による。
予算	·人件費7万円×12ヶ月 840,000 円
	·刊行物 400,000 円
	・企画とセミナー 200,000 円
	·資料収集 360,000 円
	計 1,800,000 円
	/ / 12

事業番号	公2
事業名称	地域ふれあいフェスタ事業
事業目的	『支え合い』『家族の絆』等をテーマとして、木工教室、切り絵、おもちゃ教
	室、映画会、ブース出店、絵画の募集と表彰などのイベントを行う。
対 象	一般の方誰でも可。
期間	平成 26 年度より実施。年1回。

事業内容	"県内勤労者の拠点"である会館で『支え合い』『家族の絆』等をテーマとし
	た無料参加のフェスタを行うことは、「勤労者の福祉の向上を目的とする事
	業」に関連すると考えられる。
	運動方針でもある"地域に開かれた会館づくり"の一環として、無料参加の
	フェスタを行うことは、「地域社会の健全な発展を目的とする事業」に関連す
	ると考えられる。
	広く一般の方が参加できる。無料。
	地域へのチラシ配布、新聞紙面への広告、ホームページに掲載等、広く周
	知する。
	それぞれの分野のNPO・ボランティア団体と連携し、木工、絵、おもちゃ教
	室等を出店する。
財源	自主財源から拠出。
資産	ヒューマンわー〈ぴあ徳島
人員	専従職員および臨時職員が従事する。
案 内	館内に掲示、関係する労働者福祉団体の広報誌に広告掲載、ホームペー
	ジに掲載等の方法による。
予算	·表彰、記念品 150,000 円
	・木工教室ほか 400,000 円
	・事務費(パンフレットほか) 150,000 円
	計 700,000 円